



東大寺 大仏

奈良県

て、どんなところなの？



若草山

〔奈良県の面積と人口〕

面積 3,690.94 km²

人口 134 万 70 人

世帯 59 万 3,146 世帯

(平成 30 年 10 月 1 日現在)



朱雀門



位置と面積

奈良県の位置は日本のほぼ中央部、紀伊半島の真ん中にあり、大阪府・京都府・和歌山県・三重県に囲まれている海のない内陸県です。面積は3,690.94 km²で全国(377,974.17 km²)の約1%。県庁所在地は奈良市で、アメリカ合衆国のロサンゼルスやアトランタ、中国の西安とほぼ同じ緯度に位置しています。(国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」)

人口が最も多いのは奈良市

奈良県の人口は134万70人で、全国の人口1億2,644万3千人の約1%となっています。市町村別でみると、奈良市が35万5,350人と最も多く、次いで橿原市(12万2,422人)、生駒市(11万7,411人)となっています。最も人口が少ないのは野迫川村(387人)で、次いで上北山村(445人)、黒滝村(605人)となっています。また、奈良県の世帯数は59万3,146世帯で、1世帯当たりの人員は2.26人となっています。(県統計分析課「奈良県推計人口年報」、総務省統計局「人口推計」)

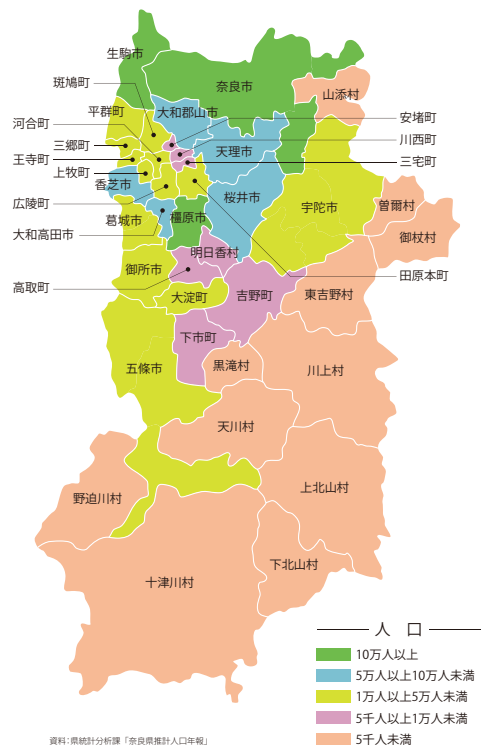


東大寺 南大門 金剛力士像

概ね温暖だが、南北で気候の差が大きい

奈良県は盆地があり、高原があり、山があり、自然が豊かなところです。そのため、全国的にみても、地域によって気候の差が大きい県です。北部にある奈良盆地は概ね雨は少なく、夏はむしろ暑く、冬は底冷えするほど寒さが厳しくなります。一方、南部の山地は夏に雨が極めて多く、時には局地豪雨が起これり、冬は厳しい冬山の様相を呈し、積雪もかなり深くなります。

〔市町村ごとの人口分布〕



資料：県統計分析課「奈良県推計人口年報」